

計画の名称	飯能市公共下水道（第2期）													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和02年度（1年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	飯能市													
計画の目標	下水道事業の推進により、都市の健全な発達、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		731	A	731	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R2末
1	令和2年度から令和2年度末までに下水道（汚水）整備面積を、1045.4ha（R2当初）から1048.0ha（R2末）に増加させる。 下水道（汚水）整備実施率 汚水整備済面積（ha）／事業計画面積（1,292.71ha）	81%	%	81%
2	令和2年度から令和2年度末までに雨水幹線整備延長を、0m（R2当初）から171m（R2末）に増加させる。 雨水管整備実施率 雨水管整備済延長（m）／整備すべき雨水管延長（171m）	0%	%	100%
3	令和2年度から令和2年度末までに飯能市浄化センターの地震対策実施施設数を、0施設（R2当初）から2施設（R2末）へ増加させる。 飯能市浄化センターの地震対策実施率（最初沈殿池（第3系）、高速ろ過池） 耐震化済施設（施設）／耐震化を要する施設（2施設）	0%	%	100%
4	令和2年度から令和2年度末までにストックマネジメント計画に基づく管路調査実施済延長を、0km（R2当初）から8km（R2末）へ増加させる。 管路点検調査実施率 管路点検調査実施済延長（km）／管路点検調査対象延長（8km）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供	
次の要素事業については別計画へ移行となる。移行先の計画が令和6年度で完了した後に、一括で事後評価を行う。■飯能市公共下水道（第2期）（重点計画）へ移行 A07-001、A07-002（令和3年度より）■飯能市公共下水道（第2期）（防災・安全）へ移行 A07-003、A07-004（令和3年度より） A07-005、A07-006（令和2年度3次補正より）															

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	管渠（ 污水）	新設	岩沢北部区画整理地内面 整備	L=150m、舗装工	飯能市	■					71		－
	A07-002	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	管渠（ 污水）	新設	岩沢南部区画整理地内面 整備	L=60m、舗装工	飯能市	■					15		－
	A07-003	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	管渠（ 雨水）	新設	笠縫雨水幹線整備	L=171m、舗装工	飯能市	■					500		－
	A07-004	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	終末処 理場	改築	終末処理場施設地震対策 事業	耐震診断、耐震工事	飯能市	■					103		策定済
		総合地震対策計画																	
	A07-005	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	管渠（ 合流）	改築	管路施設老朽化対策事業	点検調査	飯能市	■					32		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-006	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	終末処 理場	改築	終末処理場施設老朽化対 策事業	基本設計	飯能市	■					10		策定済
		ストックマネジメント計画																	
											小計						731		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果										R02	R03	R04	R05	R06			
		備考																	
											合計						731		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
飯能市下水道事業審議会により、令和6年9月に実施した。	令和6年9月3日
	公表の方法
	市のホームページへ掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・污水管を整備したことにより、污水整備済み面積が拡大した。 ・笠縫雨水幹線整備では、雨水管を整備した。（Φ2,000mm、L=170.678m） ・飯能市浄化センター最初沈殿池、高速ろ過池の耐震工事を実施したことにより、大地震発生時の処理機能を確保することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
・下水道（污水）整備については、概成に向け引き続き実施していく。 ・笠縫雨水幹線整備については、別計画により継続していく。 ・終末処理場施設地震対策事業については、別計画により継続していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道（污水）整備実施率		
	最 終 目標値	81%	計画のとおり当初の目標を達成した。
	最 終 実績値	81%	
2	雨水管整備実施率		
	最 終 目標値	100%	計画のとおり当初の目標を達成した。
	最 終 実績値	100%	
3	地震対策実施率		
	最 終 目標値	100%	計画のとおり当初の目標を達成した。
	最 終 実績値	100%	
4	管路点検調査実施率		
	最 終 目標値	100%	計画のとおり当初の目標を達成した。
	最 終 実績値	100%	

計画の名称	飯能市公共下水道（第2期）		
計画の期間	令和2年度～令和2年度（1年間）	交付対象	飯能市

